

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：大山崎町

プロジェクト名	おおやまぎの未来を支える子どもたちのためのプロジェクト	実施期間	平成27年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>子どもを取り巻く環境は、昨今の少子高齢化の進展、核家族化、女性の社会進出等の社会情勢ともかかわり、保護者の就労形態がさまざまとなり、学童保育や時間外保育の利用が増加し、教育・保育現場でのニーズは多様化してきている。そのような中、おおやまぎの未来をしっかりと支えてくれる子どもたちを育むことは行政の責務である。</p> <p>また、未来を支える子どもたちの学びの場である教育施設に関して、大山崎小学校、第二大山崎小学校は、それぞれ昭和40年代築と老朽化しており、その改修及び修繕は喫緊の課題となっており、ニーズも非常に高い。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>町民、各町内企業、行政等関係機関が連携して、大山崎町の未来を支える子どもたちが一人ひとり尊重され、健やかに、溢れる笑顔にはぐくまれるまちとなるよう事業を実施する。</p>						
	総事業費（千円）	55,269	本年度事業費（千円）	55,269	交付金額（千円）		4,253
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	大山崎中学校スクールランチ事業	交付対象事業	ランチボックス式昼食の提供		年間喫食数：2,299食		
	町立小学校スチームコンベクションオープン設置事業	交付対象事業	スチームコンベクションオープンの購入		スチームコンベクションオープンの設置：2校		
	大山崎小学校北校舎トイレ改修事業	交付対象事業	老朽化の著しいトイレの改修工事を実施		校舎トイレ改修：2箇所		
	大山崎小学校北校舎屋根防水改修事業	交付対象事業	屋根防水の部分補修工事		雨漏り箇所の是正：3箇所		
	第二大山崎小学校大規模改修事業	交付対象事業	老朽化の著しい学校施設の改修工事		第二大山崎小学校の改修工事：5箇所		
	保育所遊戯室エアコン更新事業	交付対象事業	保育所の遊戯室に設置しているエアコンの更新工事を実施。		保育所3ヶ所で実施（計6台）		
	放課後児童対策事業 （留守家庭児童会育成事業）	関連事業	老朽化した留守家庭児童会施設の建替え工事を実施。		留守家庭児童会施設の建替え1件		
	子育て支援医療助成事業（拡充分）	関連事業	町独自として、小学生に係る部分について助成内容を拡充		平成27年9月診療分から実施		
住民 協働 事業	交通指導員配置委託料 （児童の登下校の見守り活動）	関連事業	児童の登下校時の安全確保		交通指導員の配置：町内3箇所		
住民が 取り組む 事業	子育て支援事業	関連事業	子育て支援センター「ゆめほっぺ」での親を中心とした交流活動を実施。		毎月1～2回実施		
成果 指標	成果指標の目標数値	スクールランチ喫食数：3,700食		成果指標の実績値		スクールランチ喫食数：2,299食 （平成28年3月31日時点）	
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）		事業の廃止に至ったため。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：大山崎町

①	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）	中学校の完全給食実施に向けた検討を行う。	（時期）	
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	小学校トイレ改修：14か所（平成30年度末）		成果指標の実績値	小学校トイレ改修：2か所 （平成28年3月31日時点 計7か所改修済み）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	年次計画に基づき、本年度に予定していた工事を竣工することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	大山崎中学校スクールランチ事業については、利便性を高め、利用拡大を図るよう努めたが、ニーズに対して満足させることができなかった。しかし、事業の実施によって子育て世帯への支援、成長期の生徒へバランスのとれた食事の提供に繋がった。また、今後は中学校の完全給食実施に向けた検討を開始する。 トイレ改修工事は、老朽化の著しい施設環境を改善し、児童へ快適な教育環境を提供できた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	子どもの成長を見守る取り組みを通じて、行政と地域、また地域間の連携を促進することができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	登下校時の見守り活動を実施することにより、地域の子どもは地域で守る機運を醸成し、自治意識の高揚に寄与した。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果	老朽化の著しい小学校施設の改修工事を実施し、安全、安心な教育環境、および快適な教育環境の整備に繋がった。また、スチームコンベクションオープンの設置によって、給食における提供メニューが増え、食への関心の高まりに伴い、食育への関心が高まった。			

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：大山崎町

- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。